

# 南信州広域連合第12回広域連合会議 結果報告

日時：令和6年3月14日(木) 15:10～16:00

場所：県飯田合同庁舎301号会議室(講堂)

## 【出席者】14市町村長、副管理者

〔サントリーホールディングス(株) 桜本専任課長

〔南信州地域振興局〕丹羽局長

〔飯田建設事務所〕油井次長

〔飯田保健福祉事務所〕松岡所長

〔下伊那町村会事務局〕岡庭事務局長

〔飯田広域消防〕北澤消防長、新井総務課長

〔環境センター〕飯田事務長

〔事務局〕吉川事務局長・小椋事務局次長兼総務課長兼地域医療福祉連携課長

壬生広域振興係長・伊藤庶務係長・久保田庶務係主査・宮崎庶務係主事

## 1 開会…15時10分

## 2 広域連合長あいさつ

令和6年2月28日(水)広域連合会議会が閉会した。令和6年度予算に桐林クリーンセンターの解体に係る予算が計上されているが、本日地元への説明の状況について報告する。速やかに契約に至れるようしっかり進めていきたい。

令和6年3月8日(金)信州大学の地域中核・特色ある研究大学事業のキックオフイベントが松本市であり、関係市町村長として出席した。信州大学として飯田市を実証タウンとして水の研究を進めて行くということで、前向きな発言がたくさんあった。飯田市のみならず地域全体として信州大学の研究を応援して、その効果を波及させていくことが大切であるため、進捗に応じて情報を共有しながら進めていきたい。

本日、サントリーホールディングス(株)の桜本様にお越しいただき、ボトルリサイクルに関する取り組みについて説明を頂く。

## 3 協議・報告事項

### (1) サントリーとのボトルリサイクルに関する取組について【桜本専任課長】～資料No.1～

#### ア サントリーグループプラスチック基本方針

2030年までにグローバルで使用するすべてのペットボトルをリサイクル素材あるいは植物由来素材100%に切り替え、新たな化石由来原料の使用ゼロの実現を目指す。

#### イ 日本のペットボトルリサイクル

日本のペットボトル回収率・リサイクル率は高い水準であり、ペットボトルは「資源」として有効利用されている。

(2022年度)

回収率 94.4%

リサイクル率 86.9%

#### ウ ペットボトルの水平リサイクル

これまでのリサイクルは、トレイや繊維といったペット樹脂よりグレードを落とした形でのリサイクルとなっていた。しかし、ここ10年の技術革新により、ペットボトルからペットボトルへの水平リサイクルが可能になった。

#### エ ペットボトル水平リサイクルの意義

使用済みのペットボトルをリサイクルし、新しいペットボトルに再生することで、新たな化石由来原料を使わずに資源が循環できる。また、CO2 排出量を約 60%削減できるため、資源循環と脱炭素に貢献できるリサイクルの仕組み。

(2022 年度)

ボトル to ボトル比率 29.0%

#### オ 協定の概要

住民が家庭で分別したペットボトルを自治体が回収し、サントリーが 100%ペットボトルに再生する。再生されたペットボトルを工場で使用して製品となる。

国内水平リサイクル及び資源循環を実現する。

#### (主な意見等)

高森町：先月、高森町とサントリーの間でペットボトルをペットボトルへ戻す取り組みについて協定を締結した。協定締結に至るまでに、1 年程協議を重ねる中で 1 番問題だったのが、地域でペットボトルをリサイクルする会社があって、そこを使って頂けるかというところだった。今回は阿智村のアースグリーンにお願いすることができた。水平リサイクルを進めて行くことについて、環境をメインに行っている飯田市はじめ、いろいろなみなさんに参加して頂きたい。

豊丘村：コカ・コーラの取り組みとの違いは

桜本専任課長：コカ・コーラも BtoB の同様の取り組みを行っている。ペットボトルの厚みを減らす取り組みはサントリーでも行っているが、限界があり、リサイクルが現在のサントリーのメインの取り組みになる。

阿南町：良い取り組みだと思う。この取り組みを実行するためには、なにか特別なことをしなければならないのか。

桜本専任課長：大きく仕組みが変わることはない。回収する業者がサントリーやアースグリーンになる。

高森町：自治体としてやることは変わらない。

連合長：高森町は全量がアースグリーンからサントリーへ行っているのか。

高森町：サントリーとアースグリーンで話ができたので実施した。

#### (2) 桐林クリーンセンター解体等に関する地元説明会の状況について【飯田事務長】～資料 No. 2～

令和 6 年 3 月 5 日に竜丘地区全般の住民を対象としたバイオマス発電等の説明会を開催した。当該発電所建設計画についてエプソン社から説明を行い、広域連合から桐林クリーンセンター解体工事の進め方について説明した。

質疑応答の内容については、バイオマス計画に対しては総じて歓迎の意見であり、反対意見はなかった。

桐林リサイクルセンターの閉館に関して、ホームページ、広報誌、案内看板の設置及び民間リサイクル業者への通知等の対応を進めている。今後、構成市町村の広報紙への掲載をお願いしたい。並行して、桐林リサイクルセンターの管理に関する規則の一部改正を進めている。

→質疑等なし

- (3) 元気づくり支援金を活用したプロジェクトの状況について【壬生広域振興係長】～資料No. 3～  
令和5年度に南信州広域連合が実施した、若しくは、負担金を支出した長野県地域発元気づくり支援金を活用した事業の実施状況について報告する。

事業名	実施主体	広域連合負担金【会計】	元気づくり支援金予定額【年目】
南信州環境メッセ 2023	南信州環境メッセ 2023 実行委員会	800 千円 【一般会計】	4,000 千円 【3年目】
つながり人口創出に向けた南信州広域連携事業	南信州広域連合		1,369 千円 【1年目】
マーケティングの視点による持続可能な地域づくりプロジェクト	NPO 南信州山都共同社中	1,000 千円 【特別会計】	3,075 千円 【2年目】
民俗芸能保存継承プロジェクト	南信州民俗芸能継承推進協議会	500 千円 【特別会計】	2,880 千円 【3年目】

→質疑等なし

- (4) 令和6年度構成市町村職員の採用共同試験について【小椋次長】～資料No. 4～  
令和6年度南信州圏域市町村職員採用共同試験の実施計画案について説明する。  
共同試験は、昨年より試行的に始め、6市町村が参加し、行政保健師の共同試験を行った。応募者は13名で最終的に4市町村で5名の行政保健師を採用した。  
令和6年度の共同試験については、昨年の成果を踏まえて、引き続き実施して行きたい。試験の方法は、昨年と同様に第1次試験を市町村共同で実施し、総合能力試験 SPI3Web テスト方式によって行う。受験の申し込みは、採用予定のあるすべての自治体を受験生が選択できる。第2次試験は、各自自治体の第1次試験合格者に対して、当該自治体が個別で行う。前期日程が7月から8月頃、後期日程が10月以降を予定している。  
対象職種は、行政保健師を昨年に引き続き募集する。管理栄養士または栄養士の募集については、検討中。保育士の募集については、ブロックごとの共同採用試験等について研究していきたい。  
令和6年4月下旬には、募集要綱を公表したい。  
業務主体は、引き続き飯田市へお願いしたい。

(主な意見等)

- 連合長：令和5年度と令和6年度の取り組みについて違いはあるか。  
小椋次長：後期日程を9月から10月に変更し、前期日程の中でなるべく多く、各自自治体で拾い上げたいと考えている。

- (5) 第5次広域計画の策定について【吉川局長】～資料No. 5 - 1、5 - 2～  
令和6年度に第5次広域計画の策定を行いたい。策定委員会及び実質的な原案を策定するための検討委員会の構成について、各関係団体等に協力依頼を行う。公募またはブロック推薦については、ブロックごと1名ずつ推薦して頂きたいと考えている。検討委員については、構成市町村の職員で1名ずつ委員として推薦頂きたい。行政機関からは、長野県、町村会及び土木振興会にも協力を要請する。

→質疑等なし

- (6) 三遠南信地域連携ビジョン推進会議(SENA)委員の選出について【壬生広域振興係長】～資料No. 6～  
三遠南信地域連携ビジョン連携推進会議の委員の選出について、副会長は規約により飯田市長とし、委員については、令和5年度に引き続き下平村長を提案したい。

→異議なし。承認となる。

- (7) 飯田広域消防から【新井総務課長】～資料No. 7～

令和6年たき火火災ゼロ運動について、令和6年3月1日から3月31日まで実施する。消防団との合同広報は計画しておらず、各消防団で実施して頂けるよう協力を依頼している。

本日現在で火災が13件で、その内たき火が起因する火災が6件あり、前年比で△8件となっている。

→質疑等なし

- (8) 後援依頼について【伊藤庶務係長】～資料No. 8～

事業名：第9回うるぎトライアングルRUN

期 日：令和6年10月13日(日) 9時00分～13時00分

場 所：売木村内

主催者：うるぎトライアングルRUN実行委員会

→ 異議なし。承認となる。

#### 4 長野県から

- (1) 飯田建設事務所【油井次長】

令和6年3月5日(火)に阿智村の県道園原インター線において、道路法面の土砂崩落により、現在通行止めとなっている。阿智村及び関係機関と協議を重ねながら復旧に取り組んでいる。

- (2) 保健福祉事務所【松岡所長】

##### ア 食事のバランス・朝食欠食の状況

日ごろ「主食・主菜・副菜を組み合わせた食事をしている人」の割合は、20歳以上全体では、男性45.7%、女性51.7%

「朝食を欠食した人」の割合を年代別にみると、20歳代の男性が23.3%と最も高くなっている。30歳代から50歳代の男性、30歳代の女性もその割合が高い。

##### イ 喫煙の状況

現在習慣的に喫煙している人の割合は、20歳以上全体では、男性21.4%、女性4.5%であり、男性は減少している。

##### ウ 身体活動・運動の状況

20～64歳の歩数の平均値は、男性7,344歩、女性6,448歩で、平成22年からの推移を見ると、男女ともに横ばいの状況。

#### 5 閉会・・・16時00分